

リストラから地元企業と出会い、 仕事をとおして社会の見え方が変わった

リストラをきっかけに 今の会社と出会う

高校卒業後の進路を教えてください。

大学は農学部へ進学しました。幼い頃に家族で高島に引っ越し、庭いじりやアウトドアが趣味の両親の元で、家の周りには農作業の風景が当たり前のようにありました。そんな姿を小さな頃から見ていて、自然や農業に関心を持つようになったと思います。

どんな会社へ就職しましたか？

種苗会社に就職し、高島市内で品種改良と種子生産の仕事をしました。その後、京都の本社で種子の回収や選別の仕事を2年間しました。しかし、2014年8月、リ



ストラで退社することになりました。愕然としました。納得いかない気持ちでいっぱいでした。

その後、どうされたのですか？

ハローワークで紹介された、「滋賀の“三方よし”人づくり事業（滋賀県の若年者就業支援事業：2013年3月終了）」に参加し、3ヶ月間、草津市へ通いました。ビジネスマナーや社会人の心構えなどを学びながら、就職活動をしていました。ここで、同じ目的の仲間に出会い、友人が増えました。また、この事業のマッチングイベントで今の会社と出会いました。最初の印象は、地元こんな高い技術の会社があるのかと驚きました。その技術力に魅力を感じましたし、自宅から通える近さも魅力でした。今まで関わりもなかった建設業に不安はありましたが、2週間の体験入社を経験し、約20名の社員が、心地よく交流する雰囲気やそれぞれの仕事が見える距離感に、ここで働きたいと思い、2015年3月に採用していただきました。

仕事をとおして社会の見え方が変わった

現在どんな仕事を担当していますか？

パソコンでの事務処理、現場での作業が主な仕事です。都道府県から出される道路や公園を作る案件整理と、新たな工事に当社の舗装技術が合うかどうか、上司に確認して提案営業できる資料を整理しています。地方自治体や県内の建築コンサルティング事業者の方にも営業に伺います。

まだ建設技術や資格が無いので、できるだけ現場で技術を知り、知識を得るようにしています。倉庫の整理などをして道具の名前を覚えたり、大型車両や特殊車両、建築施工管理技師の試験などの資格取得をめざして勉強もしています。

仕事の面白さはどんなところに感じますか？

石材業者、左官業者、足場組業者など多くの関連業者の方々と協力して仕事をするにおもしろさを感じます。また、こ



の仕事を始めて、道路を見る目が変わったと感じます。入社後まもなく、大阪で山道だった通学路を舗装しました。道路が造られる過程を知って感動しましたし、自信と誇りになりました。道や公園を見ると、当社の技術が活きるのではないかと思います。段取りなどを考えるようになりました。社会の見え方が変わったと感じます。営業する上でも現場を予測し、営業することが大事だと感じています。

最初の一步は勇気があるが、 その一步が一番大事。

入社されてまだ半年ですが、今後の展望はどうですか？

リストラの経験をマイナスに捉えず、前向きに、努力すれば必ず結果が出ると思えるようになりました。10年後には、必要な免許や資格も取り、会社の中で頼られる存在になりたいと思います。限られた人数の会社だからこそ、一人ひとりの存在が大きく、一人ひとりの力を発揮できる職場だと思います。

若い人へのメッセージをお願いします。

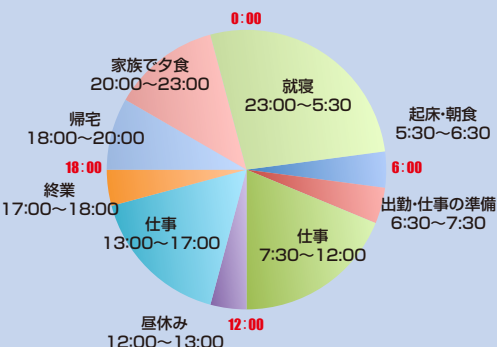
自分の好きな仕事を選ぶのはいいことです。しかし、少し視野を広げて、違う分野も経験してみたいと思います。自分に合うものに出会うかもしれません。初めから天職なんて無いと思います。成功や、失敗の中でその仕事为天職になっていくのだと感じます。少しでも気になる職や会社があれば、「経験させてください」と飛び込んでみることもいい経験になります。現場で感じるのが大事です。最初の一步は勇気がいるますが、その一步が一番大事だと思います。

DATA

●プロフィール&高島らしさとは？

1987年、京都市生まれ。2015年、田中建材株式会社入社。高島は、風の音、静かさがいいですね。ふとした景色に季節が感じられ、休日など、ゆっくりできるところがいいと思います。

●1日のタイムスケジュール



田中建材株式会社

〒520-1621 高島市今津町今津1677-14

TEL : 0740-22-0217 FAX : 0740-22-1349 HP : <http://www.tanakakenzai.co.jp>